

伊予市シティブランド確立業務 第6回市民ワークショップ報告書

テーマ: 「ロゴマークとキャッチコピーについて話し合おう」

■開催日時:平成 26 年 10 月 23 日(木) 19 時~21 時

■開催場所:伊予市中央公民館

■テーマ:ロゴマークとキャッチコピーについて話し合おう

■参加者:一般市民21人、協力職員7人、主催者スタッフ6人(未来づくり戦略室4人、セキ株式会社2人)、ファシリテーター1人、コピーライター1人、山先副市長

■プログラム

1. ロゴマーク修正案発表
2. キャッチコピー案発表
3. 個人投票、集計
4. 個人発表
5. 質疑応答



■ロゴマーク修正案発表

ファシリテーターの山内氏より、前回のデザイン案をブラッシュアップしたロゴマーク修正案が発表されました。

山内氏/皆さんから出していただいた良い意見を取り入れて3度目のブラッシュアップをしましたが、全部の意見を入れてしまうとやりたいことがぼやけてしまいますので、私なりに整理させていただきました。「市内から見た伊予市」と「市外から見た伊予市」の2つの視点からロゴを作っていますが、その2つのイメージが重なってこそ、ブランディングは成功すると思います。

余談ですが私は「ブランディング」という言葉より「暖簾(のれん)ディング」という言葉を使いたいと思っています。と言うのも言葉を横文字にすることで、本来言葉が持つ「誇り」や「哲学」を無くしてしまうことがあるからです。今回は「伊予市の暖簾」をどう作るのかが課題ですが、「暖簾を守る」「暖簾を分ける」などの言葉が今でも使われているように、今回は「暖簾ディング」と言った方が誇りを持てると思います。

さて、今回の案は前回案に比べると、バランスを保つために中に描いている波などをかなり整理しています。「伊予市」の文字の中にも風通しが良くなるように、線を一本入れました。「四国・えひめ・伊予市」が1つのセットです。使い方の1つとして「IYO」のロゴタイプの中に森や海の景色、人の笑顔などを入れることもできます。またグリーンカラーバ

リエーションは、野菜、お茶などのパッケージ、また豊かな自然や癒しなどの安心や安全イメージをメッセージする場合に使用します。またブルーのカラーバリエーションは、鮮魚用パッケージなど、清涼感やフレッシュさのイメージをメッセージする場合に使用します。つまり「ロゴの色はこれでないといけない」という考え方を止めますが、基本の色はオレンジとします。

シンボルマークとロゴタイプの組み合わせ方も英文字を使ったり、バランスを変えたり、横一列または縦一列に並べたりなど、バリエーションを持たせています。またモノクロの場合や背景に色が付いた場合などのバリエーションも作っています。さらに印刷物やフラッグ(のぼり)、Tシャツなどへの展開も作っています。例えばフラッグはデザインを統一した上で、色違いのものを2、3種類作った方がイベント会場などで色数が多くなり、楽しいと思います。伊予市の象徴であるホテルや波、花は、サブビジュアルとして大きく使います。Tシャツは市内や県内で使うときは、バック(背中)に各地域のシンボルを入れたものを、県外で使うときは「IYO」のロゴを入れたものを使うのが良いでしょう。包装紙や紙袋の展開も作っていますが、これらは一例と考えてください。

■ロゴマーク修正案

伊予市シティブランドロゴマーク 14.10.23

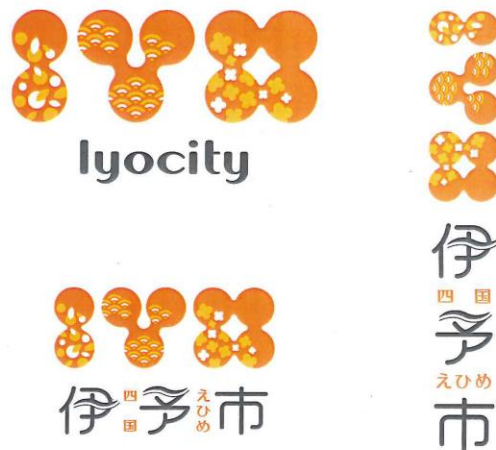
〈基本シンボルマーク・ロゴタイプ〉



〈シンボルマーク展開(画像使用)例〉



〈シンボルマークとロゴタイプの組み合わせ例〉



〈カラーバリエーション〉



〈例〉野菜、お茶などのパッケージに。
豊かな自然や畑などの安心や安全イメージを
メッセージする場合に使用。



〈例〉鮮魚用パッケージなどに。
清潔感やフレッシュさのイメージをメッセー
ジする場合に使用。

〈モノクロ使用例〉



〈背景色がある場合の使用例〉



■ロゴマーク展開例

伊予市シティブランドロゴマーク | デザイン展開例 14.10.23

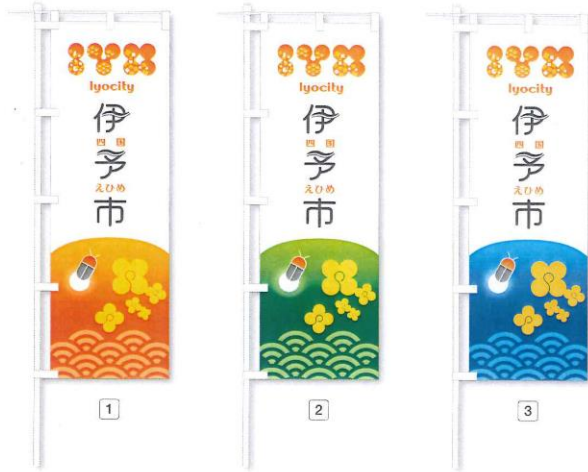
名刺



封筒



のぼり



ポロシャツ



包装紙



表面

紙袋

裏面



■キャッチコピー案発表、個人投票 & 発表

コピーライターの大野氏より、キャッチコピー案6案が発表され、各案のコンセプトなどが紹介されました。参加者は挙手で投票(1人1票)を行った後、自ら投票した案を示しながら

「投票した理由」を発表しました。なお、キャッチコピーの使い方などについては、担当部署内で協議の上、最終決定することになりました。

	キャッチコピー案 ⇒ 得票数 コンセプトなど	投票者の主な意見・感想
第1案	<p>いよし、山よし、海よし。 ⇒ 9票</p> <p>シンボルマークのコンセプト「山のまち・海のまち・人のまち」から。新市の名称「いよし」に、韻を踏む形で「やまよし」「うみよし」と続けました。「いよし」は、古語の「弥(いよ)し(いよいよ、ますますの意)」でもあり、これからますますよくなるという、新市の希望を表現しています。これを基本形として、「〇〇よし」にいろんな語を入れてアレンジすることも可能です。ひとつにしぼらない、伊予市の多彩さを逆手にとった新しい使い方です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●「山よし、海よし、いよし」にすればリズムが良くなるのでは ●「山」「海」をほかの言葉に変えてアレンジできる ●いよしの「I」、山よしの「Y」、海だからオーシャンで「O」 ●「いよし」の言葉を上手く使っている ●アレンジができる分、みんなで作り上げて行ける ●韻を踏んでいて言いやすく、市外の人が見ても伊予市が想像できる
第2案	<p>やま、なみ、咲くまち ⇒ 0票</p> <p>シンボルマークのコンセプト「山のまち・海のまち・人のまち」から。海を「なみ」と言い換えることで、「やまなみさく」と流れもやわらかくなります。「人のまち」は、シンボルマークの「菜の花」から「咲く」と表現しました。また、「咲く」には「笑み」の意もことから、山に、海に、まちに、人々の笑顔が咲くまち、といった意を込めています。</p>	
第3案	<p>うま 美しまち、いよし。 ⇒ 2票</p> <p>山海の幸、農作物に恵まれ、食文化の豊かな伊予市を「うまし・まち」と表現。古語「うまし」には「おいしい」のほか、「すばらしい」「十分に申し分ない」の意もあり、万葉集の「美し国(うましくに)」にならい、「よいまち、美しいまち」の意で。古語を用いることで歴史、物語を感じさせ、また「美」の字をあてることで、海、山、自然、街並みの美しさなども連想させます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●自然の美しさ、食の美味しさが表現できており、伊予市の方向性がはっきりしている
第4案	<p>山恋、海恋、町恋。 ⇒ 3票</p> <p>愛媛が「愛」なら、伊予市は「恋」をキーワードに展開。愛が完成形なら、恋は発展途上。山と海と町が、お互いの魅力を認めあいながらともに成長し新しい町をつくっていく、そんな新市のイメージを表現しました。小さな丸が2つ3つと集まって形をつくっていくシンボルマークのイメージとも呼応し、「これから」「未来」を感じさせます。また「こい」は「来い」にもかけています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●「恋」というフレーズが印象的 ●丸(○)がいっぱいロゴに対して、漢字の見た目が良い ●オレンジ色の図柄と文字が一致しそう
第5案	<p>海にいちばん近いまち。 ⇒ 2票</p> <p>伊予市の地の利を「海にいちばん近い」のひとことで表現。海と山が近いという特徴的な地形をうたうことで、伊予灘の長く美しい海岸線と、そのすぐ背後に山が迫る自然の豊かさを新市のシンボルとする案です。これも「海にいちばん近い〇〇」に、いろんな語を入れてアレンジできます。「海にいちばん近いベッドタウン、伊予市」という新しいイメージも創出できます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●青春 18 切符のイメージが良い ●人から「そうなん」と言われる
第6案	<p>ますます、いよし。 ⇒ 12票</p> <p>市名の「いよし」を、古語の「弥(いよ)し(いよいよ、ますますの意)」と重ねて「ますます、いよし」と表現。シンボルマークの丸がどんどん増殖していくような成長と変化のイメージとも呼応し、山のまち・海のまち・人のまちのそれぞれの魅力が合わさり重なることで、これから何かが生まれる、という「未来」「希望」を感じさせるフレーズです。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●とてもシンプルで見たときに頭に入りやすい ●「これから何かが始まる、何かができる」という印象 ●キャッチコピーと挨拶は短い方が良い ●ロゴが未来を表しているので、一番マッチする ●抽象的な分終わりがなく、次への展開が期待できる ●メインキャッチで使うと、様々な展開ができそう ●発展性がある ●ロゴマークがはっきりしているので、言葉も短い方が良い

【キャッチコピーの制作にあたって】

大野氏/ロゴマークが非常に抽象的なデザインですので、キャッチフレーズで「伊予市と言えば〇〇」「〇〇と言えば伊予市」というのを伝えることが大事だと考えました。これまでのワークショップで「伊予市の説明ができない」「伊予市のイメージが湧かない」「伊予市と言えばコレというものが無い」というような意見が皆さんから出されましたが、伊予市に魅力が無いということではなく、むしろたくさん有り過ぎるために「伊予市と言えば〇〇」というのが伝わりにくいのではないかと思います。

また「伊予、中山、双海の意識が分離している」という意見がある一方、「旧三市町のそれぞれの顔が見えるような

ことができれば」という意見もありました。旧三市町にはしっかりとしたイメージがあるので、それを生かす形で新しい伊予市のイメージを作っていけないか、と考えました。また「伊予」という言葉だけを聞くと旧伊予市のことなのか、伊予郡のことなのか、愛媛の旧国名のことなのか分からないという印象があります。そこでキャッチフレーズの方向性として「〇〇と言えば伊予市」というよりは「伊予市と言えば伊予市」、すなわち新しい伊予市をイメージしてもらえることが大事ではないかと考えました。その結果、大きなキーワードとして平仮名で「いよし」という言葉を印象付けるために、次の6案のキャッチコピーを考えました。

■感想カード(一部要約)

○ロゴマークが決定してホッとしました。これからこのロゴマークがどこまで広がっていくのが楽しみです。キャッチコピーもいろいろ素敵な案があって悩みました。複数のキャッチコピー(が採用されること)となって、自分が選んだものが入ってうれしかったです。

○ロゴマークは前回の印象より洗練されていて、早く使いたくなりました。キャッチコピーもそうですが、1つに絞らずいろんなアレンジや組み合わせができるというのは、本当に新しい発想で面白いし、「なるほど、伊予市らしい」と思います。

○たくさんの意見を集約し、改善されたロゴマークが決定して良かった。今後はさまざまな場面でこのロゴが見られるようになるのが楽しみです。キャッチコピーは1本に絞らず、用途に合わせて使用するのも面白いと思った。ロゴマークと一緒に使うなら第2案(やま、なみ、咲くまち)が良かった。

○今回は柔軟性のある対応をしていただいて良かった。1本に決めるのは少し無理だと思う。その場その場の状況で決定するのがベストだと思う。

○前回休んでいました。今回、デザインがオシャレでびっくりしましたが、個人的には嬉しいデザインでした。これからいろんなところでこのデザインを見るのが楽しみです。年には関係なく、温かいイメージを受けるデザインではないかと思えます。

○ロゴマークが決まって良かったです。先生の努力と皆さんの思いが1つになって良かったです。キャッチコピーもいろいろと考えられるんだなと感心しました。今日も楽しい会でした。

○ロゴマークがいい感じに仕上がって良かったと思う。キャッチコピーが6案もあって選ぶのに皆様が迷われた様子で、感想に意外性があり、ほかの人の意見を聞くと新しい発見があって面白い。ワークショップは楽しい。

○今回もまた素晴らしく成長したロゴマークになっていて感激した。みんなの意見を1つにまとめるのがどれだけ大変な作業だったのかを想像すると、「本当に大変だったろうな」と思います。キャッチコピーもなかなか1つにまとまらなかったけど、「使い方」というアイデアでまとまったので良かった。メインは「ますます、いよし」(第6案)。シンプルでいいと思います。

○ロゴマークの修正案が発表され、決定した。これからはこのマークを使って、どう伊予市をアピールしていくのかを考えなければならぬため、これからがスタートなのだと感じた。なお、キャッチコピーについても発表があり、用途に合わせて使い分ければ良いという案が出たが、それでは伊予市としての方向性が見えないのではないかと感じた。

○ブラッシュアップされたロゴマークは、新しい伊予市らしくなって良かったと思う。キャッチコピーは新しい伊予市を表していて良かった。

○伊予市のロゴマークが決まり、今後の展開が楽しみになった。キャッチコピーが6案発表され、各人が良いと思うものに挙手で投票し、意見を出し合った。また、キャッチコピーがイベントなどで使う案が新鮮に感じた。

○ロゴマーク・キャッチコピーがほぼ決定した訳であるが、初回に参加したときには、どのようになるのだろうと思っていたが、ものすごく良いできだと感じました。次回の報告会で最終的にどのようになるか楽しみです。また早くロゴマークを名刺などで使用したい。

○キャッチコピーが多数だが、使い分けをする方法も面白いと思った。いろいろ使い分けができるように決めてもらいたい。

○すごく可愛いロゴマークになっていてびっくりした。キャッチフレーズは1つに絞らないといけなと思っていたが、年代やシチュエーションで使いたいフレーズも変わってくるので、1つに絞らないというのもまた新しい名案だと思った。

○ロゴとキャッチフレーズが揃い、自分が住む街、自分が紹介する街のビジョンが見えました。希望が広がる「のれん」、皆で育てて行こうと思える回でした。ますます、いよし。

○ロゴマークは思った通りの案に変わっていて、とても満足しました。キャッチコピーはどれも良くて、用途によって変えるというのはいいと思います。

○ロゴマークが決まって良かったと思います。決まったからには上手く活用してもらえることを願うのみです。キャッチフレーズはいろいろあるとぼやけるので、あまり覚えてもらえないのではないかと思います。

○自分たちの意見が詰まったロゴマークが決定し、さらに伊予市に愛着が出てきた。キャッチコピーも様々なキャッチコピーを使用することで、まちのいろいろな顔が見られると思った。



○初参加でしたが一番良いタイミングでした。キャッチフレーズはやはりサブフレーズの後に原則「ますます、いよし」(第6案)が入る方が良いと思っています。

○いろいろな考え方や見方があるので、キャッチフレーズを1つに絞ることは難しいと、つくづく…。サブのキャッチフレーズを作っておく(バリエーションとして)のも一案だと思いました。「メイン」「観光」「食」「文化祭」などと、(複数の)キャッチフレーズがあるのも楽しい(面白い)と。

○ロゴマークは3色の物が一番使いやすいと思います。シールとして「大・中・小」を取り揃えていただくと嬉しいです。大変良い話が聞けたと思いました。また決定したときは、また違った会話が楽しみです。

○ロゴマークとキャッチコピーが決定し、今後の使用方法を考えたいと思います。

○ロゴが1つではないのは、新しい感じがします。

○メインのキャッチフレーズを決めて、場面によって使い分けることは面白いと思いました。

○ロゴマークもキャッチコピーも使って行くことにより、馴染んで行くのではないかと思います。「ますます、いよし」(第6案)「山恋、海恋、町恋」(第4案)で迷いました。

○大野先生のイチオシの案はどれだったのでしょうか？答え合わせをお願いします。山内先生のご提案は柔軟に対応できると言えば聞こえが良いのですが、ブレブレになるような気がしますが…。あくまでそんな気がするといった、やんわりとしたものです。



山先副市長のコメント／今日初めてこのワークショップに参加させていただきましたが、「皆さん本当にすごいな」と思いました。仕事終わりの疲れている時間帯にご参加いただき、感謝の気持ちしかありません。ありがとうございました。